

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	2970600447
法人名	株式会社 サニーオーク
事業所名	グループホームエル
所在地	奈良県桜井市上之宮9-1 (電話) 0744-46-3209
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年11月7日

【情報提供票より】(20年10月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	17 人
常勤	4人
非常勤	13人
常勤換算	10人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建て 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	360,000 円 有	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日当たり 1,100円			

(4) 利用者の概要(10月23日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	7名	要介護2	3名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢	平均 85.5歳	最低	75歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さかもとクリニック・春日病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームは、周囲に緑が多く残された住宅地の中に落ち着いた色調の2階建てで新築・開設されています。グループホーム内は木材をふんだんに使用され温もりがあり、共用空間は広く、トイレや浴室等も清掃が行き届き、明るく清潔で生活に安心とゆとりが感じられます。職員も運営理念を大切に実践・支援されています。また、入居者の生活圏の広がりを確保するために、地域社会との交流を積極的に持たれています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	現状に即した介護計画の見直しの実施や終末期に向けた方針の明確化への取り組みがなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価は、提供サービスの質の自己点検と課題把握の機会と捉え、全職員の参画の下に実施されています。なお、外部評価結果を職員に周知し、改善と実践に活かす取り組みがなされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、定期的に行われ事業や入居者の状況報告と共に、地域との関りをより深める為に、周辺の環境問題まで意見交換されるまでになり、会議設置の機能が活かされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に、不安に感じられている事や意見・要望を聞きだす取り組みや家族会で意見等を聴取されているほか、意見箱が設置されています。これらで寄せられた意見等を職員会議に諮りサービスに活かす取り組みがなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域活動への参加(草刈・祭りの手伝い等)や震災を想定し、地域住民と一緒に炊き出し訓練の実施等とともに、近くの小学生の緊急時の避難場所「ナボの家」として貢献されており、地域との関りを大切にされています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスである事を深く認識され、個々人の尊厳の維持・確保と地域社会と関りを大切とする理念が作られています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のカンファレンスで話がされているほか、玄関正面に優しい表現での墨書による基本理念の掲示や事務室内に「優しく接しましたか」と一言付け加えた理念の掲示があり、共有と実践に生かす取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動への参加(周辺の草刈・祭りの手伝い)や震災を想定した炊き出し訓練の実施等と共に、近くの小学生の緊急時の避難場所「ナボの家」として貢献されており、地域との関りを大切にされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に当たっては全職員が参画され、サービスの質を自己点検する機会と捉え実施されています。なお、外部評価結果を職員に周知し改善と実践に活かす取り組みがなされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年間計画を立て、定期的開催されています。会議では、事業報告や入居者の状況報告等がなされているほか、事業所周辺の環境問題まで意見交換がなされるまでになり会議設置機能が活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の課題や入居者支援のあり方、また、情報交換等行政との関りを重視され連携強化に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に暮らしの様子等を伝え、また、職員の異動があれば家族にも紹介し信頼関係の構築が図られています。また、定期的に「ホームだより」が発行され全体の生活の様子を周知されています。なお、体調等に変化が見られる時には、その都度連絡・相談がなされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、不安を感じられている事や意見・要望を聞きだす取り組みや家族会で意見等を聴取されているほか、意見箱が設置されています。これらで寄せられた意見等を職員会議に諮りサービスに活かす取り組みがなされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の維持・継続を図る上で、馴染みの関係は不可欠の要素であるとの思いから、職員の異動時には入居者と家族には紹介し、不安や影響がないよう配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月事業所内で、職員が各自テーマを決め講師となる研修会が持たれ資質の向上に向けた取り組みがなされています。また、代表者も職員養成に深い関心があり、外部研修の受講や事業所内研修時への外部講師の招請等にも積極的にバックアップされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	周辺の地域密着型サービス事業所と入居者同行による交流がなされ、職員の育成とサービスの質の向上への取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームの利用は本人の納得が基本である事から、支援内容の説明はもとより、生活の中に取り入れられている音楽療法の時間帯やおやつ等の時間等を利用され、体験機会の提供と雰囲気に馴染める場を持ちスムーズな利用に繋げる取り組みがなされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>アセスメントで得た情報や生活からの情報を基に、得意分野(お茶・お花・百人一首等)で能力が発揮できる機会を設定し、話題づくりと協働・共感する関係に努められています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントで得た情報や暮らしの中での言動から得た情報を詳しく記録・蓄積され、職員の共有化が図られています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、「自分らしく生活する」視点を大切に、入居者や家族の意見を十分聞き、また、ホーム内での生活リズムや課題を基に計画担当者が中心に検討・作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、6月毎に見直し、入院等により状況に変化が見られる時には、家族と相談され見直しが行われています。なお、毎月カンファレンスも実施され援助目標等の検討もなされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族等の状況を勘案され、通院や外出(買い物・理・美容院・外泊等)の送迎等に柔軟な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に説明され、家族の協力の下にかかりつけ医で受診されています。なお、月3~4回協力医の往診があり、問題があれば、かかりつけ医と相談する仕組みがあります。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期への家族の関心も高い事を認識され、協力医・かかりつけ医や訪問看護事業所と常に話し合いがなされ一定の方針を持たれています。家族等には、入居時にホームの方針を説明され了解を得られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ひとり一人の尊厳を保ち、また、誇りを損ねない為に、カンファレンス時に事例を基にその考え方や対応の仕方等を検討され適切な対応を心がけられています。なお、職員採用時に個人情報の取り扱いについて説明されており、各種記録等は適切に管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れの設定はありますが、本人の意向等を優先に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台所はオープン化されており、調理の様子が伝わり食への意欲・関心が醸成されています。また、入居者も能力に合わせ調理の準備や配膳等に協働され、職員も一緒に楽しい雰囲気の中で摂られています。		
	23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がありますが、本人の意向に沿った支援がなされており、夜間入浴への対応もなされています。また、併設の通所介護施設の大浴場も適宜利用され、楽しい入浴への工夫もなされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	暮らしの中にアクセントを付ける事は、生活に張り合い・生きがいに繋がることを認識され、得意分野で能力が発揮できる場面作りや歌やレクの実施、また、車による買い物・外食・季節の行事(花見や祭り等)の見学等がなされ楽しみ事、気晴らしへの支援がなされています。		
	25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出により受ける効果の大きい事を認識され、周辺の散策や屋外設置のベンチでの外気浴等を毎朝・夕採り入れられているほか、ドライブや買い物等外出機会の確保が図られています。なお、自力歩行が困難な入居者には、車椅子を利用し、戸外に出掛ける支援がなされています。		
(4)安心と安全を支える支援						
	26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員のしっかりした見守りと連携がなされ、日中の玄関は常に開錠されています。		
	27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消火・避難訓練が実施されており、緊急時の通報装置の整備や避難・誘導経路等も確保されています。なお、火災等の発生時に於ける地域住民の応援協力体制についても、運営推進会議に参加されている地域代表者に要請されています。また、非常時の水や食料の備蓄もなされています。		非常時に於ける地元住民の協力・応援への働き掛けがなされていますので、体制整備に一層努められる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況を介護記録に詳細に記録されており、健康管理に十分留意されています。なお、夜間は自由な水分補給に資するため、各室にペットボトルの配置もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広い共用空間は清掃が行き届き、異臭も無く清潔感があふれています。玄関等には季節の花が生けられ居心地良く過ごせる環境となっています。また、ソファの配置や畳敷きのスペースが確保されており、一人ひとりがゆとりを持って過ごせる場所が確保されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や好みの写真・置物等が持ち込まれ穏やかに過ごせる場所となっています。なお、和室・洋室を準備され希望に応じられています。		